

## 料金 (チケット種別/各回入替制)

●一般 **1,600円**  
2作品目以降は**1,000円**

●シニア(65歳以上)・学生 ▶ 要身分証

**1,200円**  
2作品目以降は**1,000円**

●高校生以下・障がい者 ▶ 要身分証

**1,000円**

## サポーター

映画祭を応援して下さるサポーターの方々を募集しております。鑑賞の際は事前のご予約をお願いいたします。

●映画祭サポーター券(フリーパス)

**10,000円**(限定20枚)

3月14日(土)~15日(日)のすべての上映をご覧いただけます。

●映画祭サポーター券(1日券)

**5,000円**

3月14日(土)もしくは15日(日)のすべての上映をご覧いただけます。

## ボランティア募集

映画祭のボランティアを募集中です。3月13日(金)の事前準備、映画祭開催日(14日・15日)のお手伝い等、詳しくは公式ブログにて。

## ご予約

大倉山ドキュメンタリー映画祭は**予約優先制**です。予約受付期間は、**2月1日(日)から3月11日(水)**です。会場の定員数(80名)に限りがあるため、ご予約がないと入場いただけない場合がございます。公式ブログに申込フォームへのリンクを掲載しています。申込フォームまたは電話・メールをご利用下さい。

公式ブログ

▶▶▶ <https://o-kurayama.jugem.jp/>



電話・メールでのお申し込みの場合は、必ず以下をお伝えください。

①お名前 ②お電話番号 ③鑑賞したい作品 ④鑑賞人数 ⑤チケット種別

会場は全自由席です。受付順に整理番号つきチケットをお渡しし、開場時刻(上映の15分前)より番号順にご入場頂きます。遅くとも、上映の10分前までに受付にお越しください。上映時刻の直前になると当日券のお客様を優先させて頂くことがあります。余裕を持ってお越し頂きますよう、お願いいたします。

## お問合せ

電話 : 080-4777-9772 (実行委員会) / 090-6190-8588 (三浦)

Email : ookurayamaeiga@gmail.com

## カフェ

ドキュメンタリー カフェ  
*Documentary Cafe*



映画祭の期間中、大倉山記念館のアンティークなお部屋で、ドキュメンタリーカフェを開催します。実行委員会の自慢のケーキ、クッキー、お飲み物をご用意しています。また、ドキュメンタリー映画のDVDや関連書籍もお求めいただけます。上映作品の監督と歓談する機会もあります。どうぞおいしいお菓子やお茶とともに映画祭をお楽しみください。

# 第16回 大倉山ドキュメンタリー映画祭

Okurayama Documentary Film Festival 2026



2026年3月14日(土)  
15日(日)

会場 横浜市大倉山記念館ホール

『あなたのおみとり』『黒川の女たち』



『NO 選挙, NO LIFE』『無理しない ケガしない 明日も仕事! 新根室プロレス物語』



『陽なたのファーマーズ フクシマと希望』『よみがえる声』『それでも私は Though I'm His Daughter』



主催: 大倉山ドキュメンタリー映画祭実行委員会 共催: 横浜市大倉山記念館

## 最新情報

大倉山ドキュメンタリー映画祭  
公式ブログおよび  
Facebookページにて、  
最新情報を更新しています。

会場  
**横浜市大倉山記念館**

東急東横線・大倉山駅下車 徒歩9分  
(大倉山駅まで渋谷から30分 横浜から15分)

〒222-0037  
横浜市港北区大倉山2丁目10番1号

電話: 045-544-1881  
駐車場はございません。ご注意ください。



《協賛》ヤジマデンタルクリニック/大倉山レモンロード商店会/編集・デザイン 企業組合エコ・アド/HOPE/  
デジサポ トライセブン/ギャラリー&スペース弥平

《協力》社会福祉法人かれん/NPO法人街カフェ大倉山ミエル/NPO法人精神保健を考える会まいんどくらぶ  
認定NPO法人びーのびーの/WE21ジャパンこうほく/映像グループ ローポジション/ワークショップ.ピリオド

# 14日 土

ホール 定員80名

10:20 『あなたのおみとり』  
2024年/95分 監督:村上浩康



末期癌の父親の「うちに帰りたい」という願いをうけて自宅での看取りを決意した母と、それを支える周りの人々の姿をドキュメンタリー映画監督である息子が見つめた生々しくも清々しい記録。介護を始めてからどこか生き生きとしてくる母の姿、初めて知る老いた両親の若かった頃のエピソード、献身的なホームヘルパーさんの仕事ぶりや高齢化社会の現実…父の最期と向き合う日々の中に人間の営みと生命の輝きが映し出されていく。

★ 上映後、村上浩康監督のトークあり

12:50 『黒川の女たち』  
2025年/99分 監督:松原文枝



戦時下の満州で満蒙開拓団の女性たちに起きた「接待」という名の性暴力の実態に迫る。日本の敗戦が濃厚になり、岐阜県からの黒川開拓団の人々は生きて日本に帰るため、15人の女性を性の相手として侵攻してきたソ連軍に差し出すことで、助けを求めた。帰国後、女性たちは差別と偏見にさらされ、心身ともに傷を負った事実は長年にわたり伏せられる。しかし、戦争から約70年が経ち、手を携え、加害の事実を公の場で語り始める。

★ 上映後、松原文枝監督のトークあり

15:20 『NO 選挙, NO LIFE』  
2023年/109分 監督:前田亜紀



選挙取材歴25年のフリーランスライター・畠山理仁の情熱と苦悩に迫った作品。候補者全員を取材することを信条に、国政から地方選、海外までさまざまな選挙を伝えてきたが、睡眠時間は平均2時間、本業である原稿執筆もままならず、経済的にも困窮。ついに2022年9月の沖縄県知事選の取材を最後に引退を決意する。そんな彼が沖縄で出会ったのは、有権者の選挙への高い参加意識と、民主主義をあきらめない県民たちの思いだった。

★ 上映後、前田亜紀監督のトークあり

18:00 『無理しないケガしない明日も仕事! 新根室プロレス物語』  
2024年/79分 監督:湊寛



2006年に北海道根室市でプロレスをこよなく愛し、地元を元気にするために立ち上がったサムソンが、100万円のリングを勢いで購入。結成13年間の感謝を込めて13番勝負の全てを戦い抜いたサムソンは「病気を克服して必ずこのリングに帰ってきます」と言い残し、リングを降りた。しかし1年後、家族に見守られながら55歳でこの世を去ったのだった。活動を休止していた新根室プロレスのメンバーは新木場1stRINGに再び姿を現すこととなり…!?

# 15日 日

ホール 定員80名

10:45 『陽なたのファーマーズ フクシマと希望』  
2025年/98分 監督:小原浩靖



たべもの、でんき、笑顔も自給。それは、新しい農業のかたち。そこには太陽光発電とともに若者たちの挑戦と成長の姿がある。2012年、原発事故によって廃業に追い込まれた福島県二本松市の有機農業者・近藤恵さんは、農地上で発電するソーラーシェアリングに活路を見出し、2021年から電力も作る農業者の道歩み始めた。原発事故から立ち上がり、自分たちの力で農業とエネルギーづくりを始めた福島のファーマーたちの今と希望の物語。

★ 上映後、小原浩靖監督のトークあり

13:15 『よみがえる声』  
2025年/148分 監督:朴壽南・朴麻衣



90歳の在日朝鮮人2世の映画監督・朴壽南(パク・スナム)が約40年前から撮り続けていた16mmフィルムを基に、原爆被害を受けた朝鮮人、長崎の軍艦島に連行された徴用工、沖縄戦の朝鮮人元軍属、日本軍の慰安婦にされた女性たちの声なき物語を朴壽南と娘・麻衣が描く。時代の波に飲み込まれた記憶や歴史的事実を掘り起こし、多くの人々が見過ごしてきた真実に光を当てる。それは、私たちがいま直面する問題にもつながっている。

第28回 釜山国際映画祭ドキュメンタリー部門最優秀作品賞  
第90回 毎日映画コンクール ドキュメンタリー映画賞  
★ 上映後、朴麻衣監督のトークあり

16:35 『それでも私は Though I'm His Daughter』  
2025年/119分 監督:長塚洋



オウム真理教教祖・麻原彰晃の三女として生まれた松本麗華を6年にわたり取材し、社会で批判の目に晒されながら、懸命に生きる姿を描く。父親の逮捕時12歳。以来、「お前はどうか？」という問いをつきつけられてきた。死刑の前に父を治療して事実を話してほしいとの彼女の願いに識者らも賛同するが、間もなく死刑執行。麗華に対して教団の「幹部認定」はその後も取り消されず、就職や銀行口座を作ることすらできていない。

EBS国際ドキュメンタリー映画祭スペシャル・メンション受賞  
★ 上映後、長塚洋監督のトークあり

18:55 ドキュメンタリー・トーク 35分



映画祭の最後を締めくくる作り手たちのトーク。上映作品の監督と大倉山ドキュメンタリー映画祭実行委員会を担う作り手たちが語り合います。

★ 映画祭チケットをお持ちの方は参加無料

上映後の舞台挨拶は、ゲストのやむをえない事情により、変更、中止されることがあります。